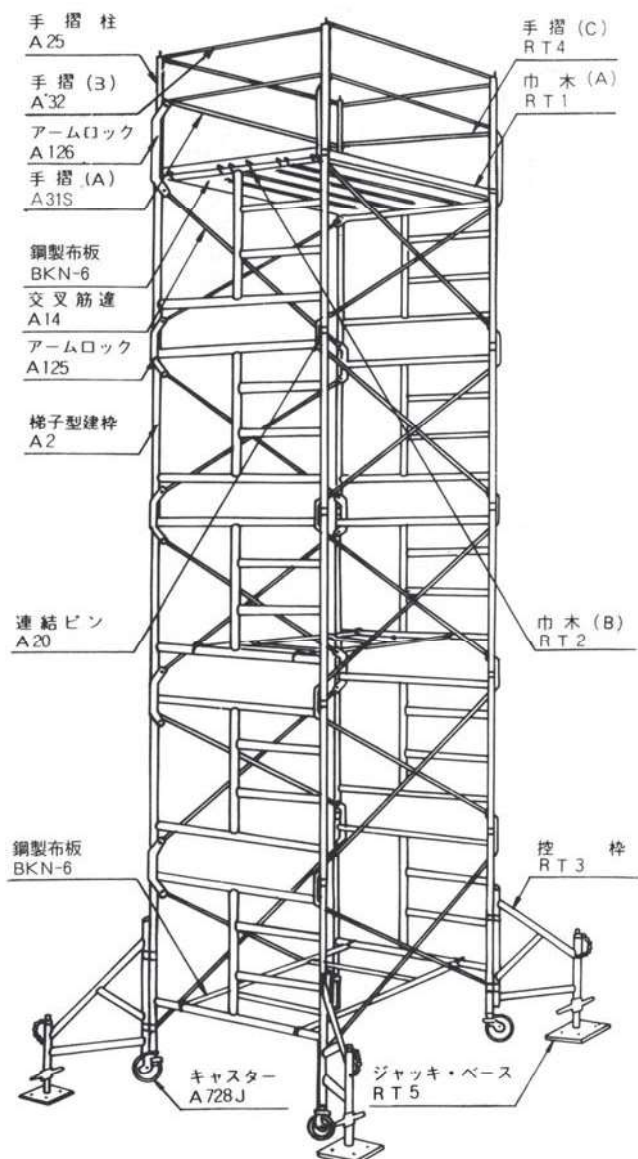


# 【ローリングタワー】

## 組立構成図他



### ローリングタワーの高さの規則

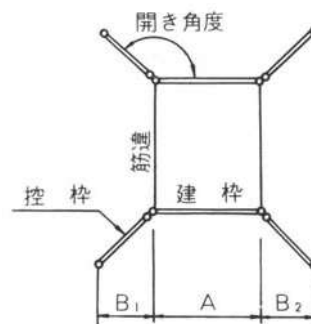
- ① 控柱（アウトリガー）が無い場合  
脚輪（キャスター）下端から作業床までの高さ(H.m)と、ローリングタワーの外径を形成するキャスターの主軸間隔(L.m)とは次の式によって制限される。

$$H \leq 7.7L - 5$$

- ② 控柱（アウトリガー）を有する場合  
控柱を有する構造のローリングタワーにあつては、①の式に於けるLmの値を、次の式により得られる値とすることが出来る。

$$L = A + \frac{1}{2}(B_1 + B_2)$$

上式においてA・B<sub>1</sub>・B<sub>2</sub>は下図に示すものとする。



### 積載荷重

ローリングタワーの積載荷重(WKg)は、作業床の面積(A㎡)に応じて次の式により得られた値とする。

$$A \geq 2 \text{ のとき } W = 250 \text{ (kg)}$$

$$A < 2 \text{ のとき } W = 50 + 100A \text{ (kg)}$$

○ 以上の式は、仮設工業会発行の「移动式足場の安全技術基準」によります。

### 部材表

作業面高さ 部材名(品番)	1段 1M794	2段 3M343	3段 4M892	4段 6M441	5段 7M990	6段 9M539	7段 11M088
梯子型建柱(A2)	2	4	6	8	10	12	14
交叉筋違(A14)	2	4	6	8	10	12	14
連結ピン(A20)		4	8	12	16	20	24
アームロック(A125)		4	8	12	16	20	24
アームロック(A126)	4	4	4	4	4	4	4
手摺柱(A25)	4	4	4	4	4	4	4
手摺A(A31S)	4	4	4	4	4	4	4
手摺B(A32)	2	2	2	2	2	2	2
手摺C(RT4)	2	2	2	2	2	2	2
鋼製布板(BKN6)	4	4	4	5	5	5	5
巾木A(RT1)	2	2	2	2	2	2	2
巾木B(RT2)	2	2	2	2	2	2	2
車輪(A728J)	4	4	4	4	4	4	4
※控柱(RT3)					4	4	4
ジャッキ・ベース(RT5)					4	4	4

〔 RT1~RT5はローリングタワー専用部材です。  
他は枠組足場との共通部材です。 〕

※この場合はローリングタワーは控柱の開き角度を135°に設定してあります。

### 使用上の注意

- (1) 足場に積載荷重を表示し、その荷重以上積載しないこと。
- (2) 足場には偏心荷重、水平荷重および衝撃荷重をなるべく与えないようにすること。
- (3) 作業床上では脚立、はしごなどは使用しないこと。
- (4) 枠組構造部の外側空間を昇降路とする移动式足場は同一面より同時に2名以上の者が昇降しないこと。
- (5) 作業者などを乗せたまま移動しないこと。
- (6) 傾斜面での使用については、脚柱ジャッキによって枠組構造部を鉛直に立て、作業床の水平を保持すること。
- (7) 作業者が無理な姿勢で作業を行わないで済むように作業箇所付近に足場を設置すること。
- (8) 脚輪のブレーキは、移動中を除き常に作動させておくこと。
- (9) 移動路面および移動空間にある障害物は撤去すること。